

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年05月23日

計画の名称	鶴田町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）													
計画の期間	令和06年度 ～ 令和06年度（1年間）										重点配分対象の該当		○	
交付対象	鶴田町													
計画の目標	内水氾濫による水害リスク情報の空白地帯を解消し、住民等へ情報を的確に伝達し適切な避難行動を促進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		14	A	14	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R6当初)		(R6末)
1	浸水想定区域図の作成により浸水が想定されている区域の把握割合を0%から100%に向上			
	浸水想定区域及び浸水エリアの職員把握割合	0%	%	100%
	浸水区域の把握職員数／浸水想定区域担当職員数×100			

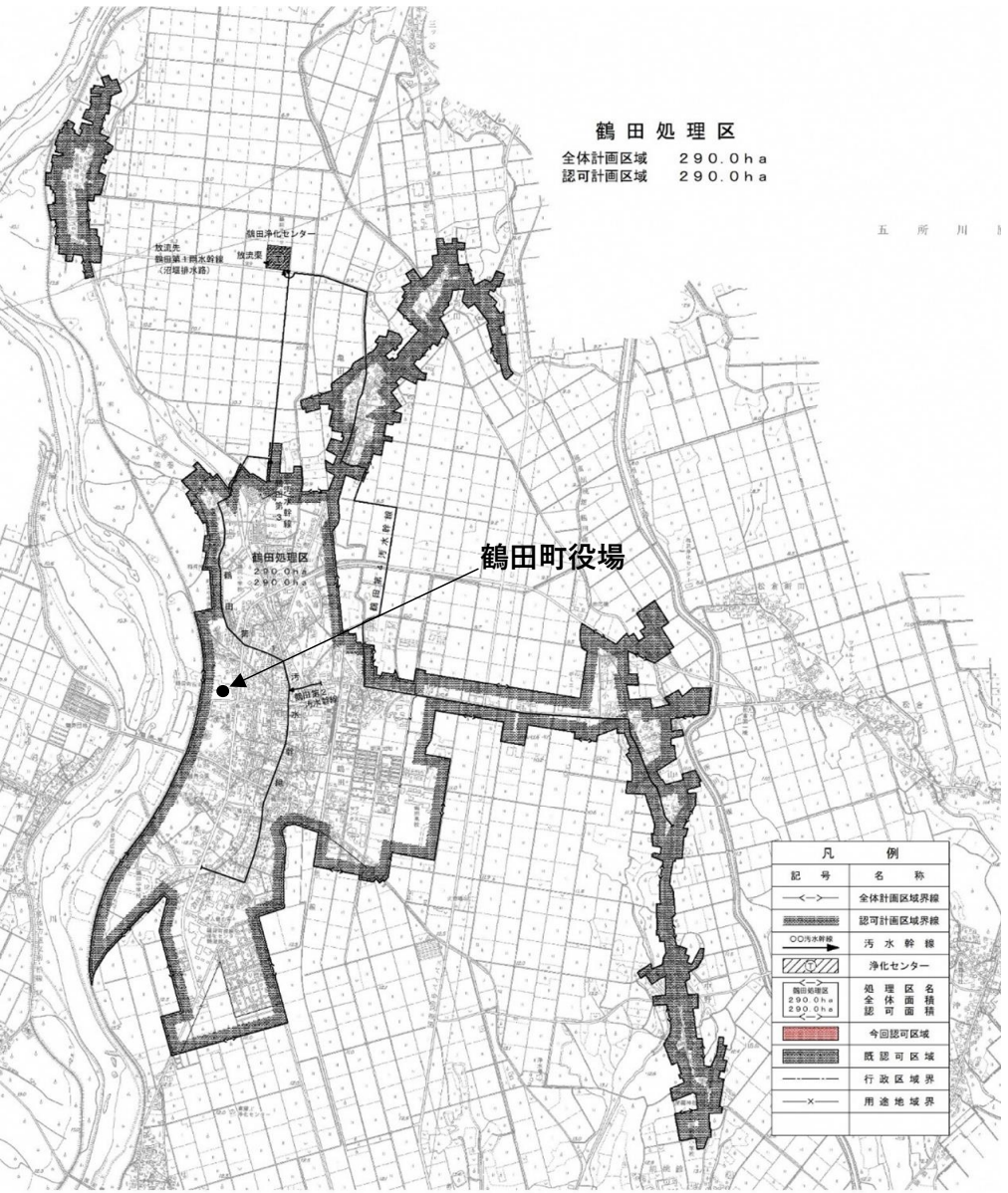
備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鶴田町	直接	鶴田町	－	－	浸水対策事業	浸水想定区域図作成	鶴田町	■					14		－
											小計						14		
											合計						14		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
建設整備課内にて事後評価を実施	事業終了後
	公表の方法
	鶴田町のホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水想定区域図の作成により浸水が想定されている区域を把握することができ、職員間で情報共有した結果、把握職員数割合が令和6年度当初0%から令和6年度末には100%に向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後は作成した浸水想定区域図を基に内水ハザードマップの作成及び配布を行い、内水氾濫による水害リスク情報の空白地帯を解消し、住民等へ情報を的確に伝達し適切な避難行動を促進する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	鶴田町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）		
計画の期間	令和6年度～令和6年度（1年間）	交付対象	鶴田町



A07-001 浸水対策事業
(浸水想定区域図作成)